

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

阿部 雅良 氏 株式会社事業創造サポート 代表取締役

石坂 芳弘 氏 トヨタカローラ北越株式会社 次長

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

吉澤 裕和 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 学科長

山口 昌一 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校 学科長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	<ul style="list-style-type: none">・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	<ul style="list-style-type: none">・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営にってもらいたい。・学生の安全管理を今以上に意識して欲しい。避難訓練のあり方や安全確認の方法など。
基準 3 教育活動	<ul style="list-style-type: none">・簿記や税法、ビジネスマナー等については十分な知識が身に付く内容と思われる。ペン字や接遇マナーなど実学に通ずる内容も評価できる。より実務に繋がる内容を検討していくことで、更に企業のニーズに合った学生を輩出して欲しい。・特に、コミュニケーション能力の向上を図るような授業や実習が今以上にないと良い。
基準 4 教育成果	<ul style="list-style-type: none">・簿記検定やビジネスマナー検定をはじめとした各種資格の取

	<p>得が、十分に成されている点は評価できる。資格のみならず実学的な内容が伴うと更に良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、幅広く学ぶことで事務職だけでなく、様々な職種で活躍できる人材を育成していると思われる。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会、NSG奨学金等と言った奨学金での支援と、学校独自の学費減免制度の2本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約150台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員科等）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点をはっきりと出ているのではないかと思われる。 ・実習機会が多くある学科では、社会との接点が多く、社会性を身に付けやすいが、ビジネス系学科のように座学が中心の学科にも、インターンシップなどをふんだんに取り入れてはどうか。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群26校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター）制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後32周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。今後も、常に時代のニーズに応えられる人材を輩出していきたい。

以上

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

徳永 淳一 氏 長岡都市ホテル資産保有株式会社 長岡グランドホテル 料飲サービス部部长

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

小島 由記子 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	<ul style="list-style-type: none">・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	<ul style="list-style-type: none">・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営してもらいたい。・学生の安全管理を今以上に意識して欲しい。避難訓練のあり方や安全確認の方法など。
基準 3 教育活動	<ul style="list-style-type: none">・公務員試験対策授業のみならず、簿記、パソコン、ビジネスマナーなどにおいても高資格を目指すために、教師と学生が一丸となって、頑張っていることが非常に評価できる。・今後とも挨拶、返事などの基本的なことの徹底、およびコミュニケーション能力の向上に努めるような指導を続けてほしい。
基準 4 教育成果	<ul style="list-style-type: none">・公務員合格実績および簿記、パソコン検定の合格実績が他校

	<p>の公務員系学科の実績を大きく上回っていることに感心した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーにおいて、更なる上の検定取得を目指すとともに、より実務に適合した学生指導を期待する。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会、NSG奨学金等と言った奨学金での支援と、学校独自の学費減免制度の2本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約150台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員科等）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点をはっきりと出ているのではないかと思われる。 ・実習機会が多くある学科では、社会との接点が多く、社会性を身に付けやすいが、ビジネス系学科のように座学が中心の学科にも、インターンシップなどをふんだんに取り入れてはどうか。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群26校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後32周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。今後も、常に時代のニーズに応えられる人材を輩出していきたい。

以上

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

阿部 正喜 氏 新潟ニュービジネス協議会 理事

内藤 真理子 氏 株式会社 新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	<ul style="list-style-type: none">・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	<ul style="list-style-type: none">・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営してもらいたい。・学生の安全管理を今以上に意識して欲しい。避難訓練のあり方や安全確認の方法など。
基準 3 教育活動	<ul style="list-style-type: none">・販売実習では現場の戦力として十分な仕事を行っており、販売やビジネスマナーなどの授業で実務に即した内容が指導されている。・仕事では総合的な能力が求められており、専門分野以外にもコミュニケーション能力や一般常識など幅広い知識・能力を身につける指導を更に充実してほしい。
基準 4 教育成果	<ul style="list-style-type: none">・販売士検定や簿記検定をはじめとした各種資格の取得が、十分に成されている点は評価できる。資格のみならず実学的な内容が伴うと更に良い。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業界が中心ではあるが、様々な職種で活躍できる人材を育成していると思われる。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会、NSG奨学金等と言った奨学金での支援と、学校独自の学費減免制度の2本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約150台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員科等）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点をはっきりと出ているのではないかと思われる。 ・実習機会が多くある学科では、社会との接点が多く、社会性を身に付けやすいが、ビジネス系学科のように座学が中心の学科にも、インターンシップなどをふんだんに取り入れてはどうか。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群26校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター）制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後32周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。今後も、常に時代のニーズに応えられる人材を輩出していきたい。

以上

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

佐藤 秀紀 氏 北越印刷 株式会社 取締役

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

村島 敏治 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務

5. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。 ・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。 ・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営にってもらいたい。
基準 3 教育活動	・コンテストの入賞実績や、インターンシップによる作品制作は評価できる。しかし現状に満足することなく、作品レベルの向上に努めてもらいたい。 ・知識だけに偏ることなく、人間教育も重視した教育活動を行なってもらいたい。
基準 4 教育成果	・それぞれの専門分野の業界に、毎年確実に人材を送り込んでいると思われ点は評価できる。
基準 5 学生支援	・日本育英会、NSG 奨学金等と言った奨学金での支援と、学校独自の学費減免制度の 2 本建で学生支援を行なっている

	点は、高く評価したい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約 150 台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員系）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そういった点がはっきりと出ているのではないかと思われる。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群 26 校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター）制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後 32 周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。特に、ポスター制作等で、地域社会に貢献しており、かなりの評価をいただいている。今後も、CG科に限らず、常に、時代のニーズに応えられる人材を輩出していただきたい。

以上

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

稲川 直哉 氏 株式会社ジェイ・エス・エス 代表取締役

上村 悦男 氏 株式会社グレートラボ 代表取締役

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

戸田 清始 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 学科長

6. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。 ・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。 ・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営にってもらいたい。
基準 3 教育活動	・現在、どのような業界でも I T 技術は必ず要求される基礎技術となっている。基礎を確実に習得するとともに、業界に応じ、さらに専門性を高めていってもらいたい。 ・知識だけに偏ることなく、人間教育も重視した教育活動を行なってもらいたい。
基準 4 教育成果	・それぞれの専門分野の業界に、毎年確実に人材を送り込んでいると思われ点は評価できる。
基準 5 学生支援	・日本育英会、NSG 奨学金等と言った奨学金での支援と、学

	校独自の学費減免制度の 2 本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準 6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約 150 台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準 7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員系）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点があははっきりと出ているのではないかと思われる。
基準 8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群 26 校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準 9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準 10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター）制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後 32 周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。特に、公務員系の卒業生は地元の地方自治体で活躍しており、かなりの評価をいただいている。今後も、公務員系に限らず、常に、時代のニーズに応えられる人材を輩出していきたい。

以上

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

稲川 直哉 氏 株式会社ジェイ・エス・エス 代表取締役

上村 悦男 氏 株式会社グレートラボ 代表取締役

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

戸田 清始 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 学科長

7. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。 ・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。 ・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営にってもらいたい。
基準 3 教育活動	・現在、どのような業界でも I T 技術は必ず要求される基礎技術となっている。幅広い分野において基礎を確実に習得し、実務に生かせるようにしてもらいたい。 ・知識だけに偏ることなく、人間教育も重視した教育活動を行なってもらいたい。
基準 4 教育成果	・それぞれの専門分野の業界に、毎年確実に人材を送り込んでいると思われ点は評価できる。
基準 5 学生支援	・日本育英会、NSG 奨学金等と言った奨学金での支援と、学

	校独自の学費減免制度の 2 本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準 6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約 150 台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準 7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員系）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点があははっきりと出ているのではないかと思われる。
基準 8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群 26 校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準 9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準 10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター）制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後 32 周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。特に、公務員系の卒業生は地元の地方自治体で活躍しており、かなりの評価をいただいている。今後も、公務員系に限らず、常に、時代のニーズに応えられる人材を輩出していきたい。

以上

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 25 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

稲川 直哉 氏 株式会社ジェイ・エス・エス 代表取締役

上村 悦男 氏 株式会社グレートラボ 代表取締役

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

黒崎 勝 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

村田 啓助 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

戸田 清始 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 学科長

8. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	・学校創立より 32 年、理念にぶれなく、目標等一貫した指導が評価できる。 ・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	・教職員への周知を、より徹底してもらいたい。 ・教務間、教務と事務局間の連携を密にとって運営にってもらいたい。
基準 3 教育活動	・現在、どのような業界でも I T 技術は必ず要求される基礎技術となっている。基礎を確実に習得するとともに、業界に応じ、さらに専門性を高めていってもらいたい。また、CG 技術を用いることで、表現力を高めてもらいたい。 ・知識だけに偏ることなく、人間教育も重視した教育活動を行なってもらいたい。
基準 4 教育成果	・それぞれの専門分野の業界に、毎年確実に人材を送り込んでいると思われ点は評価できる。

基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日本育英会、NSG奨学金等と言った奨学金での支援と、学校独自の学費減免制度の2本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室（パソコン数約150台）や、教室は十分であるが、大人数で一斉講義できるような教室があってもよいのではないかと思われる。 ・学習環境とその有効活用が重要であると思われる。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科（公務員系）と、今ひとつの学科（学生）の意識に、差があるように感じられる。 ・募集時にも、そう言った点をはっきりと出ているのではないかと思われる。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価報告書にも記載したが、本学は、NSGグループの専門学校群26校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校である訳であるから、法令等の遵守は、当然のこととなる。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点が評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼によるポスター（長岡祭り時の灯籠流し・最低賃金ポスター）制作等、学生として可能な範囲ではあるが、その点は大いに評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・創立後32周年を経過し、地域に根づいた学校と評価されている。特に、公務員系の卒業生は地元の地方自治体で活躍しており、かなりの評価をいただいている。今後も、公務員系に限らず、常に、時代のニーズに応えられる人材を輩出していただきたい。

以上